



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート

第82号(2010年11月30日)



【建設ブームが再び】

いわゆるドバイ・ショック後に落ち込んでいた中東地域における建設関連の需要が、また増えつつあるそうです。

アラブ首長国連邦のProleads Global社の調査によれば、現在アラブ首長国連邦では1,300件近くの、金額ベースでは4,180億ドルに相当する建設プロジェクトが進行中だそうです。また、金額ベースでは合計1,430億ドルに相当する303件の別のプロジェクトが、現在企画中、あるいは入札中とのことです。これとは別のドバイ政府の調査結果によれば、ドバイは依然として中東地域では最大の建設マーケットとされています。ドバイは、インフラへの相当規模の投資を通じて建設産業を支えているようです。

一方でアラブ首長国連邦のアブダビについては、ドバイと比べると輸送関連のインフラが発達しておらず、慢性的な混雑が起きていますが、2010年から2015年にかけて、公共投資だけで680億ドルの投資が行われることが期待されています。

アラブ首長国連邦のみではなく、サウジアラビア、カタールなどでも多くのプロジェクトが進んでおり、結果として建設業をサポートするだけでなく、建設機械の需要も高まることが予想されます。また、原油依存の経済を多様化させることも期待されます。

ドバイでは、11月にThe Big 5 PMVと呼ばれる建設関連の展示会が開かれました。およそ20カ国から100を超える展示があり、ドバイが中東地域でビジネスを行う上での重要なハブであることが改めて示されたと言えそうです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ドバイで最初の不動産投信】

ドバイ最大の銀行であるドバイ・イスラミック銀行がフランスの不動産会社と組んで、アラブ首長国連邦で初となる不動産投信を設定したそうです。この不動産投信は商業用ビル、住居用ビルそれぞれに投資するタイプです。

ドバイの地価は金融危機によって50%以上下落していますが、この不動産投信の設定によって不動産マーケットにポジティブな影響がもたらされると期待されています。

当初はドバイの資金が投資されると見込んでいますが、将来は中東全域、あるいは世界中から投資を受けることも想定されています。

【ペンギングループが中東に】

ピアソンの出版部門のペンギングループは日本でも「ペンギンリーダーズ」などで知られていますが、今回エジプトの出版社と合併で中東でもビジネスを始めることになりました。いわゆる「ジキルとハイド」、「ドンキホーテ」などのタイトルが中東でアラビア語に翻訳されて書店に並ぶこととなります。これまでに中国、韓国、ブラジルでも合併で翻訳書を出していますが、経済の発展や教育レベルの向上も手伝って、売上は好調とのことです。



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。



『らくだより』

スパークスの中東地域における情報発信レポート



【ミッション・インポッシブル4】

トム・クルーズ主演のミッション・インポッシブルの4作目が現在製作中です。実は、この作品の一部はドバイを舞台に撮影されることになり、11月にドバイでの撮影が開始されました。

ドバイで開かれたお披露目会見では、トム・クルーズ自らが『ミッション：インポッシブル／ゴースト・プロトコル』というUS版の正式タイトルを発表したそうです。

また、監督の発表によれば、世界で一番の高さとなるブルジュ・ハリファ・タワーでもいくつかのシーンが撮影されたそうです。尚、私が見つけた限りは、このタワーでトム・クルーズが宙吊りになっているシーンがYouTubeで見られるようです。

上映は来年になりますが、イーサン・ハントがドバイでどのような活躍をするのか、早くも楽しみになりました。

【世界最大のTシャツ】

カタールの会社が、世界で一番大きいTシャツとしてのギネス記録を打ち立てました。

カタール・ペトロケミカル・カンパニーが作ったTシャツは、高さ72.2メートル、幅48.7メートルものサイズで、2022年に行われるワールドカップの誘致活動のサポートの一環で作られたようで、Tシャツには22と番号が記されています。

尚、既に次回の2014年のワールドカップはブラジルでの開催が決定されており、2018年、2022年の開催国は今年の12月に発表されるそうです。2018年はヨーロッパから、2022年はアジア、中東地域からの選出が見込まれており、日本も2022年の招致を狙っているとされています。

以前カタールでもプレイしていた元アルゼンチン代表のバティストウータも、カタールの招致大使の一人をつとめています。

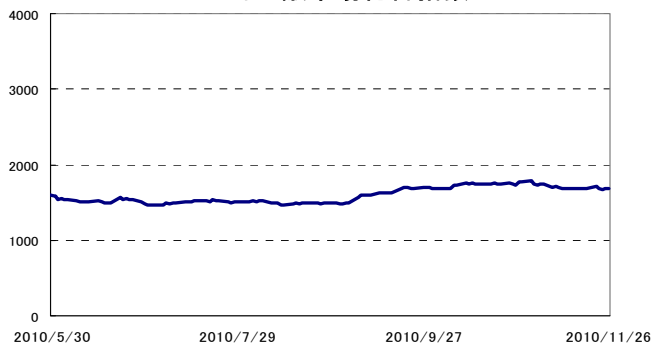


本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。

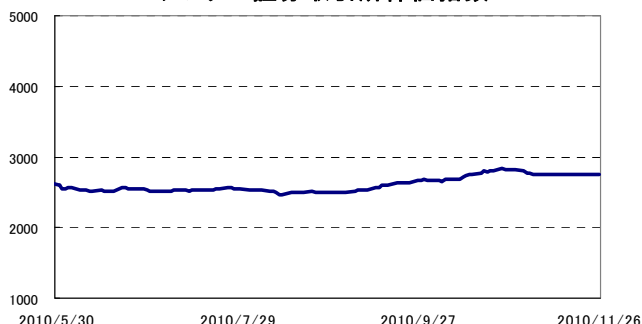


【ご参考】 中東(GCC)地域の株価推移
(各市場の直近6ヶ月)

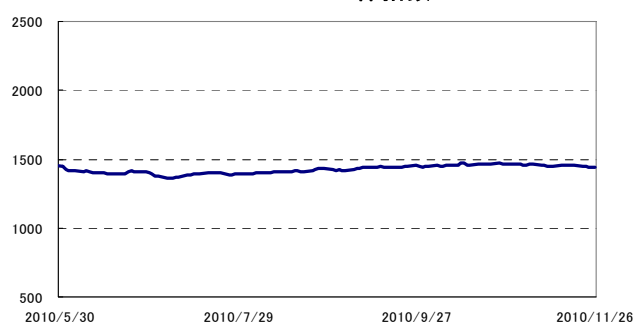
ドバイ金融市場総合指数



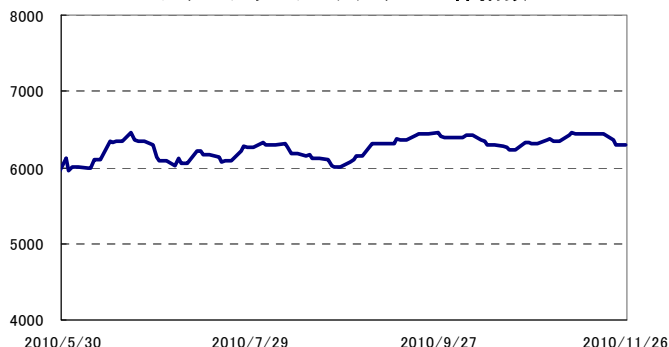
アブダビ証券取引所株価指数



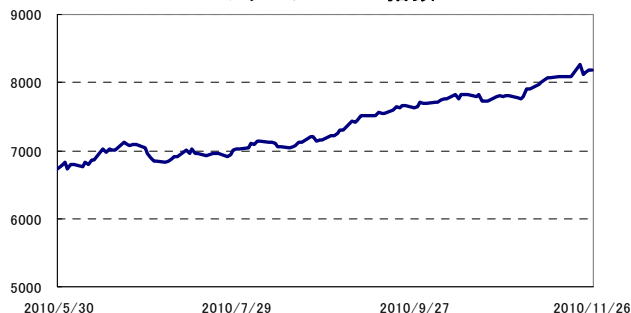
バーレーン全株指数



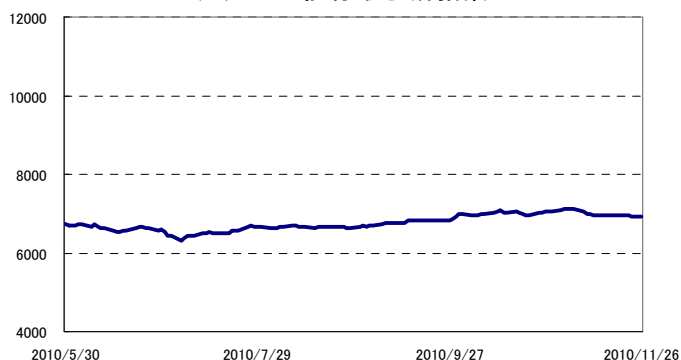
サウジアラビア タダウル全株指数



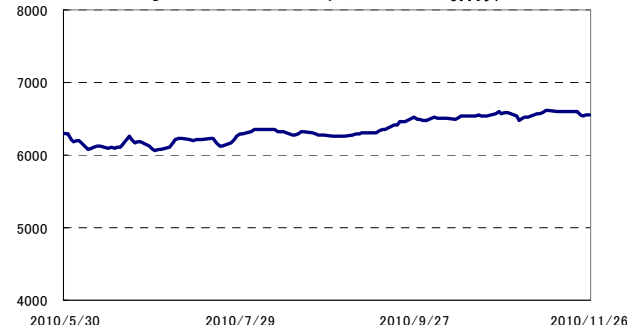
カタール DSM指数



クウェート証券取引所指数



オマーン マスカットMSM30指数



出所:FACTSET



本資料は、スパークス・アセット・マネジメントが情報提供のみを目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。また特定の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・アセット・マネジメントとその関連会社は、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述の正確性、完全性、妥当性等を保証するものではなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれらに依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。また、過去の実績に関する数値等は、将来の結果をお約束するものではありません。この資料の著作権はスパークス・アセット・マネジメントに属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用または複製することを禁じます。